

## ロボット関連技術PRカード

### 1. 企業概要

|           |                                            |      |            |         |                                                       |      |    |
|-----------|--------------------------------------------|------|------------|---------|-------------------------------------------------------|------|----|
| 会 社 名     | 株式会社エフトス                                   |      |            | 代表者名    | 友久 千秀                                                 |      |    |
|           |                                            |      |            | 窓口担当    | 彦坂 俊充                                                 |      |    |
| 事業内容      | 介護ソフトの開発・販売                                |      |            | U R L   | <a href="https://fts-com.jp/">https://fts-com.jp/</a> |      |    |
| 主要製品      | 業務支援システム FTCare-i(介護・障害・児童サービス対応)          |      |            |         |                                                       |      |    |
| 所在地       | 〒441-8113 愛知県豊橋市西幸町字浜池 333-9 豊橋サイエンスコア 307 |      |            |         |                                                       |      |    |
| 電話／FAX 番号 | 0532-44-1322／－                             |      |            | E-mail  | info@fts-com.jp                                       |      |    |
| 資本金(百万円)  | 300                                        | 設立年月 | 2002 年 6 月 | 売上(百万円) | 200                                                   | 従業員数 | 13 |

### 2. PR事項

#### 『介護・福祉サービスの業務効率化を強力に支援します!』

当社は主に、介護、福祉サービス事業者向けに、IT を活用した業務改善、DX 支援サービスを提供しており、自社開発の業務支援システム FTCare(エフティーケア)シリーズは主に「介護サービス」「障害福祉サービス」「児童養護サービス」など、全国約 1,000 事業所で導入いただいています。

国立研究開発法人日本医療研究開発機構 (AMED) のロボット介護機器開発事業にも積極的に参加しており、平成29年度、令和 2年度の2度採択を受けており、介護業務支援の開発とそれを活用した介護現場の業務効率化に取り組んでいます。

#### 【業務支援システム FTCare-i】

##### 福祉・介護現場を変える先進の業務支援システム

AI による音声入力・文字認識(OCR) 入力で記録を効率化、更に AI で集約・総括できます。

AI カメラセンティネア連携やセンサデータ集約プラットフォームケアデータコネクとの連携(50 メーカー・60 センサ)も可能です。

あなたの介護現場の DX を推進し、サービス品質向上と業務効率化に貢献します。



#### 【生産性向上ツール FTCare-i TOS】

##### 介護記録・情報共有に加え、計画および業務量の“見える化”を実現

計画作成>分析・調整>実施>評価・見直し>計画へ反映」という一連の業務フローをスムーズにアシストします。AI サポート機能(入力、レポート作成など)も充実しています。



### 3. 特記事項(得意技術以外にPRしたい事項 例:特許情報、応用分野、表彰・認定)

#### ●特許第 7364318 号(P7364318)【発明の名称】介護業務管理システム

【概要】入力された直接介護予定及び間接介護予定に基づいて必要とされる介護スタッフの業務量を集計する業務量集計部と、集計された業務量に対し、グループに投入される介護スタッフの労働投入量を比較して分析する業務量分析部とを備える介護業務管理システム。

#### ●国立研究開発法人日本医療研究開発機構(AMED) ロボット介護機器開発事業採択事例

##### ➢平成 29 年度「ロボット介護機器開発・導入促進事業(開発補助事業)」採択

研究開発課題名:「ロボット介護機器の介護業務に伴う情報を収集・蓄積し、介護記録システムに連結させる機器の開発と評価の研究」

##### ➢令和 2 年度「ロボット介護機器開発・標準化事業(開発補助事業)」採択

研究開発課題名:ケアマネジメントサイクルを活用した業務時間分析システムに関する研究開発